

1 目指す姿と検討すべき対策の柱

目指す姿

- 将来の在宅医療の医療需要に見合った在宅医療の供給体制の整備
- 医療関係者及び多職種連携により、安心して質の高いケアの提供体制の構築(※)
- 在宅医療やかかりつけ医等についての市民理解の促進

(※)在宅医療・介護連携推進事業とあわせて推進

1 在宅医療を支える連携体制の構築

- ① **医師の在宅医療に対する負担軽減のための連携体制の検討**
(医師のグループ化等による連携や引継ぎ等)
- ② **訪問看護**の事業所間の協力支援体制の構築(ネットワーク化)
- ③ **病病連携・病診連携等の促進**
急変時における入院受入れ体制の検討(バックベッドの問題)、
情報共有による連携促進の工夫(地域連携パス・ICTの研究・医療資源等のリスト化)
病院連携室の対応の均てん化 等

2 医療関係者等の理解や知識・スキルの向上

在宅医療や在宅療養、在宅看取り等についての知識や理解、技術の向上
(診療所医師・病院医師・病院看護師・退院支援担当者・
薬剤師・歯科医師・施設職員等)

3 市民への啓発・情報提供

適正な病床機能やかかりつけ医、在宅医療という選択肢、最期の迎え方等について、市民啓発や情報提供のあり方の検討

2 平成30年度の進め方

懇談会(年3回)と作業部会(年3回)を開催予定。
 作業部会では、訪問看護の諸課題についての対策案を検討(資料2-2)。
 対策の柱ごとに、関係機関においても具体的な対策案や取組みについてご検討、推進いただきたい。

| 検討すべき対策の柱 | | 機関 | | 検討事項・取組みの概要 |
|-----------------------|--|----------------------|------|---|
| 1 在宅医療を支える連携体制の構築 | ①医師の在宅医療に対する負担軽減のための連携体制の検討 | 医師会高齢者対策委員会等 | | 看取りの時期が近い方の医師の代理体制、重症化した方の対応可能な診療所の紹介、強化型在宅診療のためのグループ化等について、具体的検討を進めていただく |
| | ②訪問看護の事業所間の協力支援体制の構築 | 介護保険事業者連絡会(訪問看護部会)と市 | 作業部会 | 人材確保策や、事業所間及び病院看護師等との連携についての具体策を検討していく |
| | ③病病連携・病診連携等の推進 | 懇談会 | | 病院の在宅療養患者への対応状況についての情報提供、医療や看護のスキル提供を介した病病連携のあり方等について、懇談会等にてご協議いただく |
| 2 医療関係者等の理解や知識・スキルの向上 | 在宅医療や在宅療養、在宅看取り等についての知識や理解、技術の向上 | 懇談会構成各機関 | | 他機関の例を参考にしながら、各主体において、自院及び広く自院以外の医療関係者も対象とするような研修会等を、引き続き実施・ご検討いただく |
| | | 市 | | (仮)病院医師及び看護師対象の研修会実施の検討 |
| 3 市民への啓発・情報提供 | 病床機能やかかりつけ医、在宅医療という選択肢、最期の迎え方等について、市民啓発や情報提供 | 市 懇談会構成各機関 | | 市主催の講演会の実施予定 各主体も市民に向けた啓発の実施をご検討いただきたい |

3 年間スケジュールのイメージ

H30.5

H30.7

H30.8

H30.9

H30.11

H31.1

懇談会

第1回

- ・今年度の進め方
- ・医療や看護のスキル提供を介した病病連携 等

第2回

- ・作業部会の進捗報告、検討
- ・病院医師等対象の研修会(案)等

第3回

- ・作業部会の報告、検討
- ・今年度の取組状況(医師の連携体制の検討等)の確認 等

作業部会

第1回

- ・訪問看護・病院看護師から見た課題
- ・取組みの現状
- ・対策の方向性について

第2回

- ・具体的取組の検討

第3回

- ・具体的取組の検討

(※)各回の開催時期及び内容は、日程調整や議論の進捗状況等により変更の可能性あり

